

くるりのお便り

今月号では古布・古着の分別方法をご紹介します。
 おうちのお片付けをしている方も多いかと思います。
 正しく分別してスッキリ春を迎えましょう！

再利用できないもの



2015年、国連は国際社会が2030年までに解決すべき共通の目標として、貧困、人権、環境など17の課題を掲げました。

内容のところが人様々ですが、私は、国連が生産者、消費者に対し環境のため大量生産、大量消費を見直すよう求めたと解釈しました。

うちの理事長の漢字がむづかしい



ます」「そんな耳をくすぐるフレージに消費者はそのニーズ（欲・満足感）を膨らませ、メーカーはお金になるということで無茶をしてきたのです。

そこで文頭のことわざ、何気ないこと（消費）も拡大すると意外な事態を引き起こす。

そんな事例を紹介しましょう。

（事例Ⅰ）「バレンタインデー」は生産者の思う壺です。

チョコの原料である力カオの栽培現場は森林破壊や児童労働が深刻です。

また、森のバターと言われて今人気の「アボカド」は土地の養分を吸い尽くして生育します。

ブームが去った後の農地は当分使えないそうです。

（事例2）安価が売りの衣料メーカーの国外生産現場や急成長の某居酒屋などで過重労働が問題視されています。

お蔭で消費者は助かる、事業者は儲かる。

（事例3）遊園地のイルミネーション。

「製造に不可欠な希少金属の乱獲、精錬過程の廃棄物汚染などを承知しているのだろうか。」

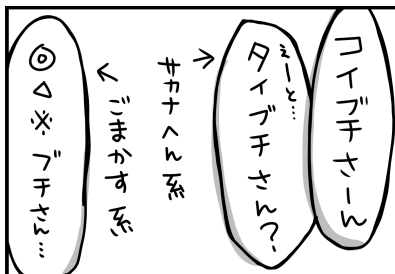
過剰に環境配慮を押し付ける「つくる側」には警戒を要します。

(事例4) クリーンエネルギーを旨指して脱ガソリン車の動きが活発ですが、バッテリーの生産とその廃棄工程で起こっている重金屬汚染禍は解決したのだろうか。

エコカーという眩しい
ライトに惑わされて、隠
れた排気ガス公害を見落

消費者の負う「つかう責任」とは、生産者の負う「つくる責任」を注視して正當に評価することだと思ひます。

消費者の賢い選択が、



(長田 輝明)



自肅生活で自炊が上達しました。

正確には自炊が簡単になるハイテク機器を手に入れました。

具体的に言うとハイテク電子レンジとハイテク電気調理鍋です。

給付金をつぎ込みました。

食材を洗って切って調味料を加え機械に放り込んでボタンを押せば大抵のものが出来上がるので、機械が作ってくれている間にお風呂に入ることが出来とても幸せです。

最近では近くのスーパーの特売情報からお勧めの献立まで教えてくれるようになった。

もうここまで来たら食
材を買って洗って切って
調味料を加えお勧めの料

理をつくるどころまでやつてくれたらいいのに。

（人はそれを
デリバリーと呼ぶ）

編集後記

ジャーナリストの田原
総一朗さんが司会進行を
務める朝まで生テレビと
いう番組が好きで、毎月
楽しみにしている。

田原さんの司会に対し賛否あるのは当然の事だが、知識と経験の豊富な方の話はやっぱり面白い。

(サクマ
ダイスケ)

平素よりくるりのお便りをお読みいただきありがとうございます。

今月号より、発行が隔月に変更になります。

今後ともよろしくお願いいたします。

(くるりのお便り編集班)

次号（132号）
の発行は

6月1日
になります。

集団回収のススメ

北区から報奨金が支払われます（1kgあたり6円）
通常は月1回でしたが、週1回から回収いたします。
積み込み作業に手を貸さなくても、周知活動にご協力
いただければOK！
どんな事でもお気軽にお問い合わせください。
いつでもご説明に伺います。

集団回収・事業系回収の
 お問い合わせはこちらへ！

バックナンバーのご要望等ありましたらご連絡ください。
ご意見、ご感想もお待ちしています！

<http://www.kitaku-rila.jp>

北区リサイクラー事業協同組合
TEL 03-3910-

取り扱い品目		
新聞	雑誌	段ボール
上質紙	古布（古着）	